

いち早く始まった田植え作業



□ 目指すは8月の新米 □

「県内一早い田植え」をうたう涌谷町吉住の農業黒沢重雄さん(68)の水田で15日、極わせ品種「おもてなし」の田植えが始まった。5月の連休明け前に作業を終え、8月下旬の稲刈りを目指す。

「おもてなし」は「ひとめぼれ」の変種で、黒沢さんが2001年から本格的に栽培

涌谷・極わせ種 田植え

している。初日は、作付け予定の4畝のうち、50アールに苗を植えた。

今年は3月6日の種まき以来、気温の高い日が続き、昼夜の寒暖差も少なかったため、苗が順調に生育したという。黒沢さんは「予報通りの猛暑を期待し、8月には待ち望んでいる消費者に新米を届けたい」と話した。

(2016年4月16日河北新報朝刊)

I 「おもてなし」とは、極(ごく)わせ品種だそうです。

①ごく ②わせ ③新米の意味を国語辞典で調べてみましょう。

①ごく：

②わせ：

③新米：

II 初日は作付け予定のうち、50アールに苗を植えたそうです。全体の何パーセント進んだでしょうか。

_____ %

III 黒沢さんはどのようなことを考えながら田植えをしたのでしょうか。文中から読み取りましょう。

[_____]